

# 京都府の地震活動

平成 29 年（2017） 5 月

第 30 卷 第 5 号

## 京都地方気象台

### 目 次

震央分布図、概況、断面図	・・・ 1
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】津波警報・津波注意報	・・・ 5

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

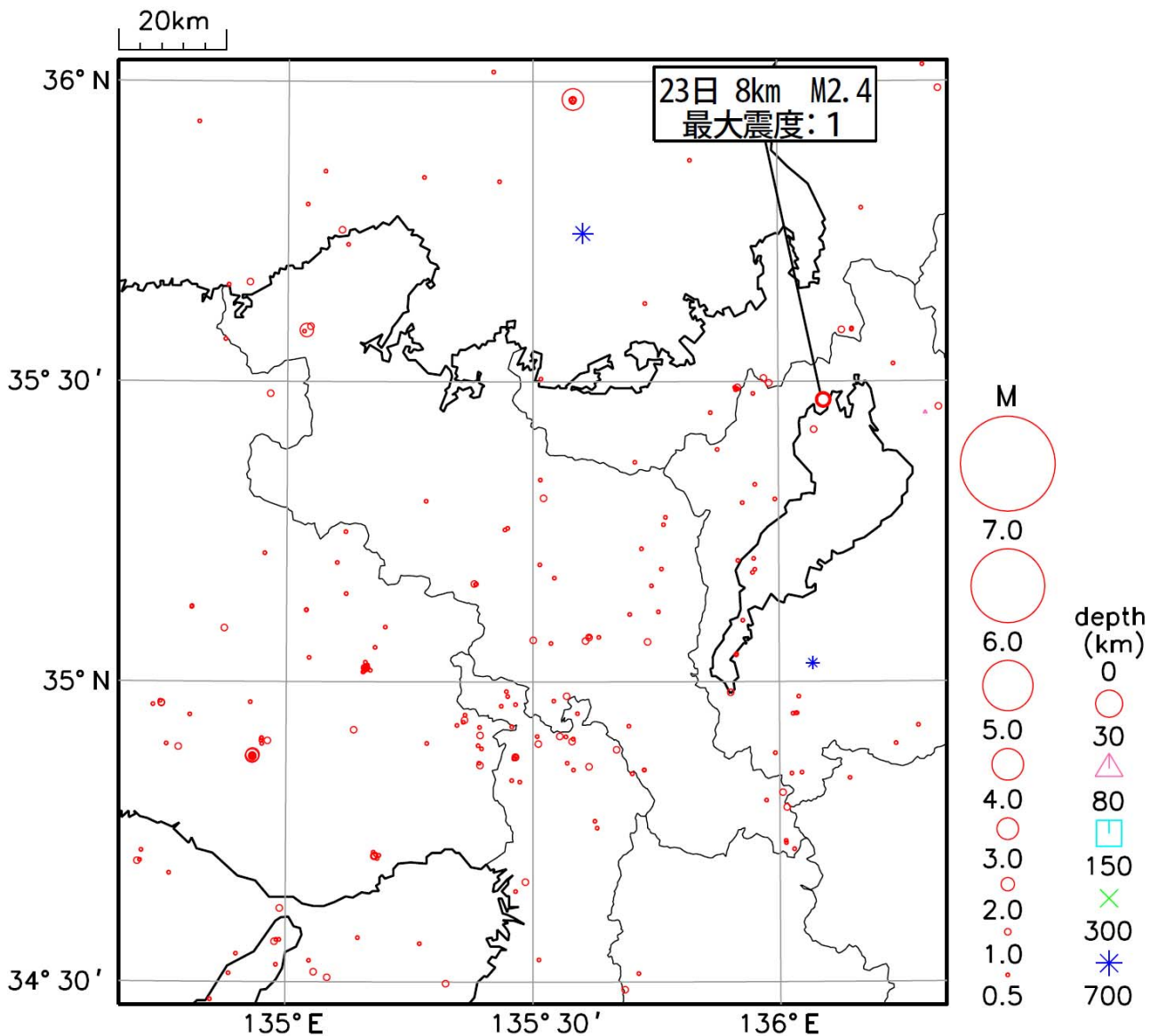
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

## 震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～700km）

2017 05 01 00 : 00 - 2017 05 31 24 : 00

総数 : 238



- ・震源の深さを表す「○、△、□、×、\*」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード (M) 及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

### 概況

5月の震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は7回、震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした（4月はそれぞれ6回、0回）。

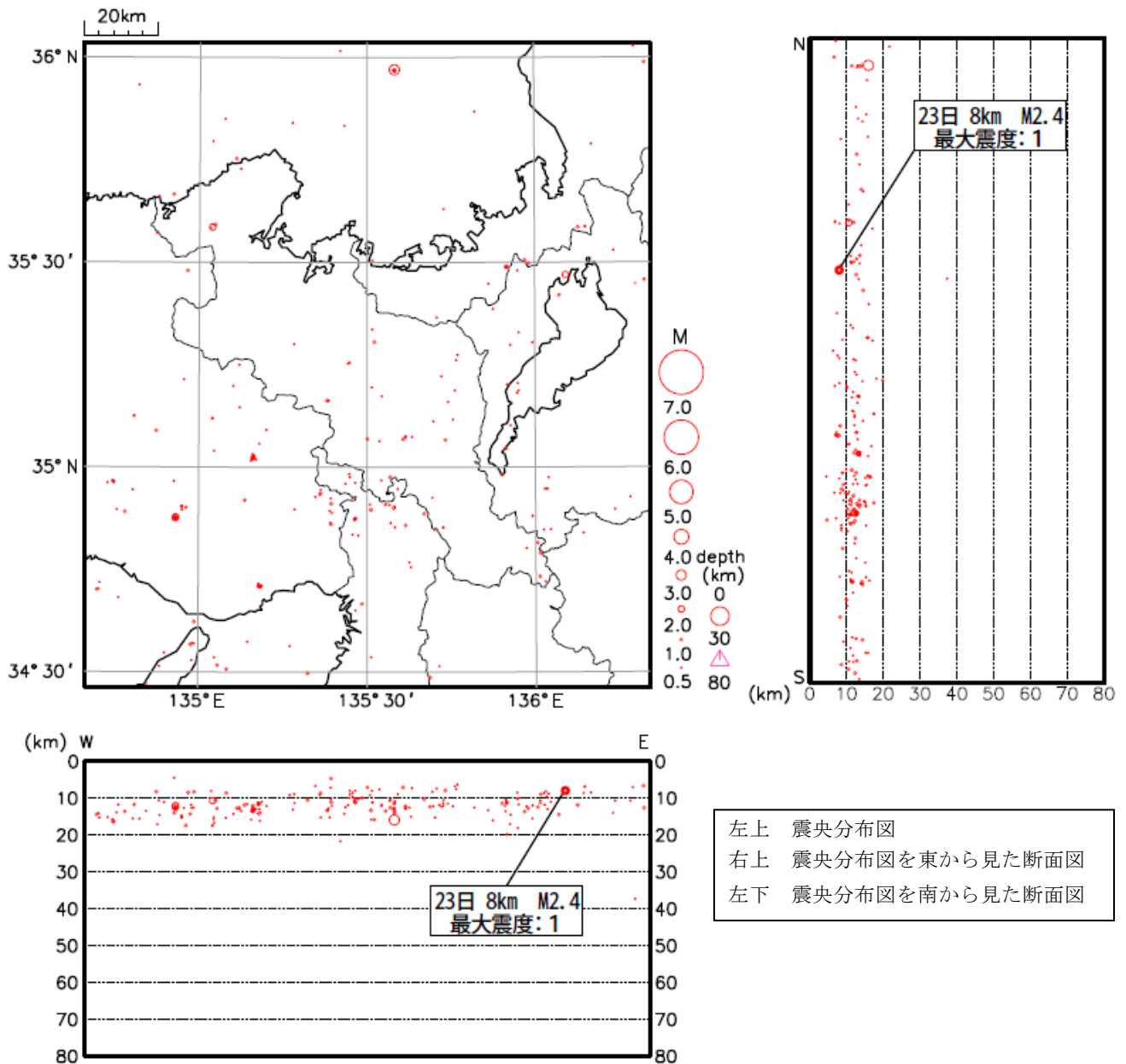
京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回（4月は0回）でした。

27日22時50分福井県沖の地震（図の領域外：M5.1、深さ17km）により、宮津市・伊根町・京丹後市・与謝野町・八幡市・久御山町・京田辺市で震度2の揺れを観測したほか、京都府内の広い範囲で震度1の揺れを観測しました。また、東海・北陸地方から中国・四国地方の広い範囲で震度2～1を観測しました。

## 震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2017 05 01 00:00 - 2017 05 31 24:00

総数：235



・震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

### 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表 (2017年5月)

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	5月27日	22:50	福井県沖	36° 03.9'	135° 32.6'	17	5.1

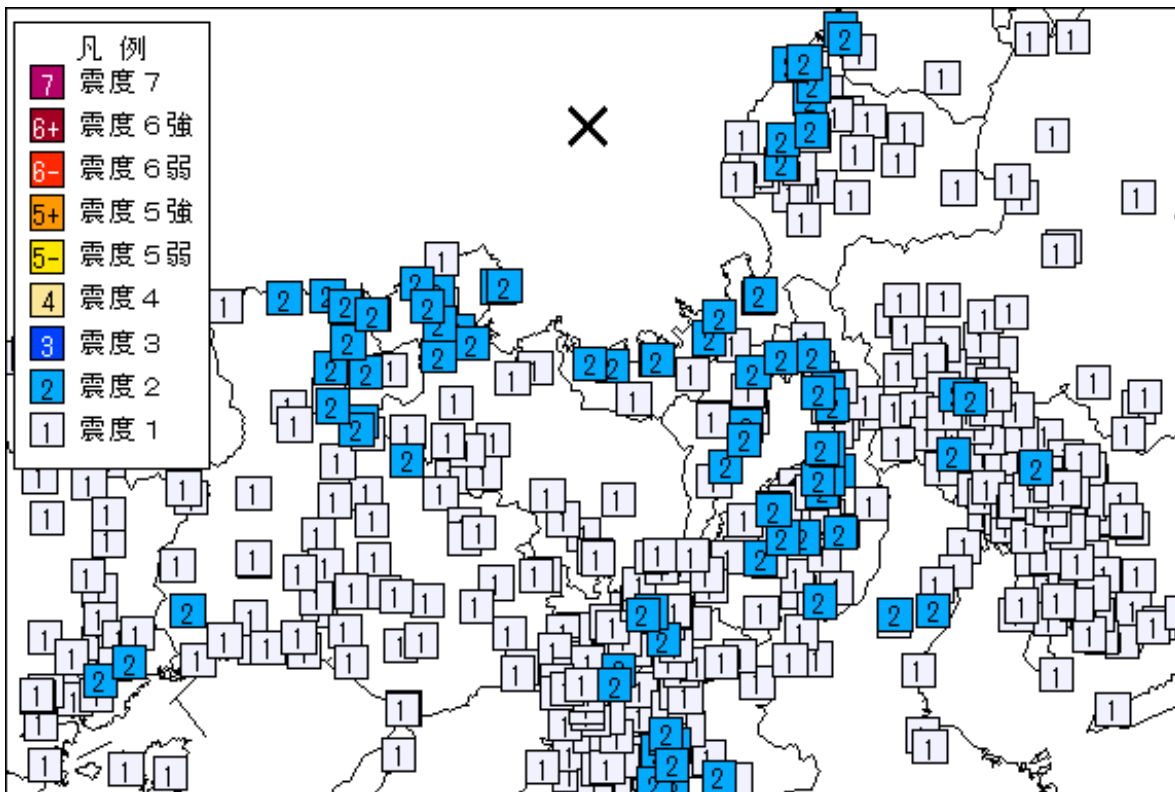
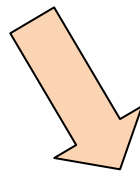
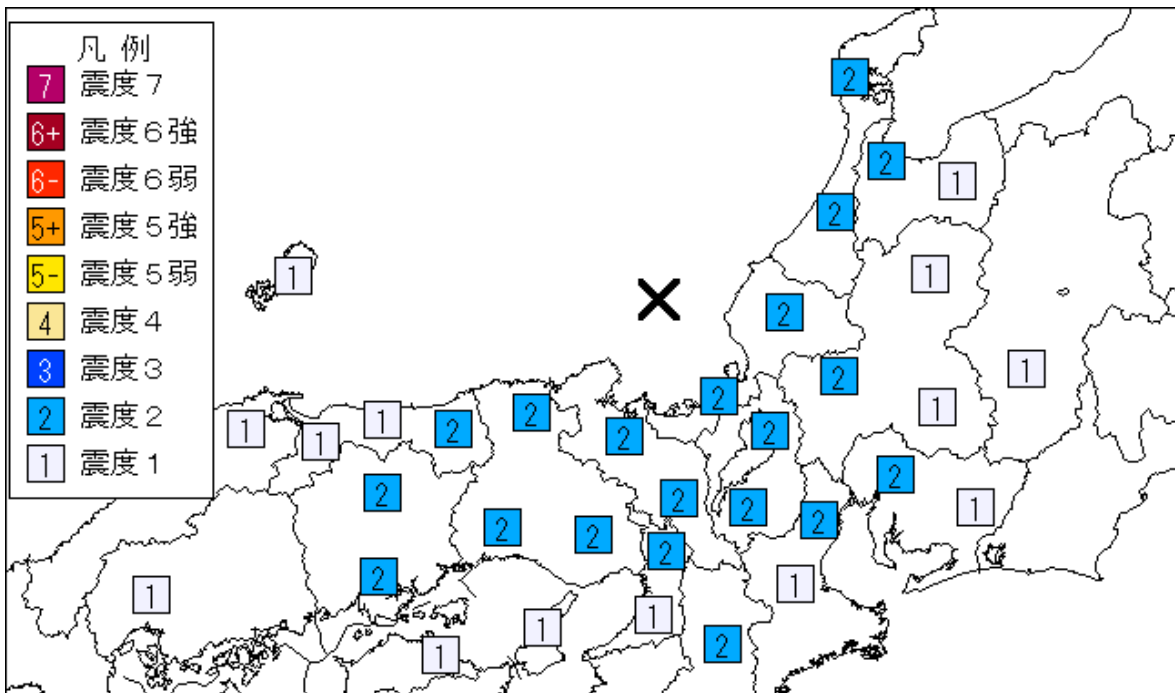
地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
北 部	福知山市内記	気	1
	福知山市長田野町	防	1
	福知山市三和町千束	自	1
	福知山市夜久野町額田	自	1
	福知山市大江町河守	自	1
	舞鶴市下福井	気	1
	舞鶴市浜	防	-
	舞鶴市北吸	自	1
	綾部市若竹町	自	1
	宮津市柳縄手	自	2
	伊根町亀島	防	2
	伊根町日出	自	2
	京丹後市弥栄町吉沢	気	1
	京丹後市久美浜町広瀬	防	2
	京丹後市峰山町	自	2
	京丹後市大宮町	自	2
	京丹後市網野町	自	2
	京丹後市丹後町	自	1
	京丹後市弥栄町溝谷	自	2
	京丹後市久美浜市民局	自	2
南 部	与謝野町加悦	自	2
	与謝野町岩滝	自	2
	与謝野町四辻	自	2
	京都北区紫竹	自	-
	京都北区中川	自	-
	京都上京区藪ノ内町	自	1
	京都上京区今出川御前	自	-
	京都左京区広河原能見町	防	-
	京都左京区田中	自	-
	京都左京区鞍馬	自	-
	京都左京区花脊	自	-
	京都左京区岩倉	自	-
	京都左京区大原	自	-
	京都中京区西ノ京	気	1
	京都中京区河原町御池	自	-
	京都東山区清水	自	-
京都下京区河原町塩小路	自	1	
京都南区西九条	自	-	
京都右京区京北周山町	自	1	
京都右京区太秦	自	-	

地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
南 部	京都右京区嵯峨	自	-
	京都右京区嵯峨櫛原	自	-
	京都伏見区竹田	自	-
	京都伏見区醍醐	自	-
	京都伏見区向島	自	-
	京都伏見区淀	自	-
	京都伏見区久我	自	-
	京都山科区安朱川向町	防	1
	京都山科区西野	自	-
	京都西京区榎原	自	-
	京都西京区大枝	自	-
	宇治市宇治琵琶	気	1
	宇治市折居台	防	1
	亀岡市安町	気	1
	亀岡市余部町	防	1
	城陽市寺田	自	1
	向日市寺戸町	自	1
	長岡京市開田	自	1
	八幡市八幡	自	2
	大山崎町円明寺	自	1
	久御山町田井	自	2
	京田辺市田辺	自	2
	井手町井手	自	1
	宇治田原町荒木	自	1
	笠置町笠置	自	1
	和束町釜塚	自	-
	精華町南稲八妻	自	1
	南山城村北大河原	自	1
	京丹波町坂原	気	-
	京丹波町蒲生	自	1
	京丹波町橋爪	自	-
	京丹波町本庄	自	-
	南丹市美山町島	自	-
	南丹市園部町小桜町	自	1
南丹市八木町八木	自	1	
南丹市日吉町保野田	自	-	
木津川市山城町上狛	自	1	
木津川市加茂町里	自	1	
木津川市木津	自	1	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、5月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図  
 (上図：地域別、下図：観測点別)



5月27日 22時50分 福井県沖の地震 (M5.1、深さ17km)

(図中の×印は震央位置)

## 【地震一口メモ】

### 津波警報・津波注意報

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震※については最速2分程度）を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

※日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

この時、予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報・注意報を発表します。その場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。このように予想される津波の高さを「巨大」などの言葉で発表した場合には、その後、地震の規模が精度よく求められた時点で大津波警報や津波警報を更新し、予想される津波の高さも数値で発表します。

#### 津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報*	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

\* 大津波警報は、特別警報に位置づけられています。

#### 津波警報・注意報と避難のポイント

- ・ 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れがあったらすぐに避難を開始しましょう。
- ・ 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難しましょう。
- ・ 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・ 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。